

本市では子どもにやさしいまちづくりに向けて「子どもの権利条例」の制定を目指しています。

この条例に、子ども・若者自身の意見や想いを反映するため、子どもの権利やまちづくりなどについて話し合う「子ども・若者会議」を実施しています。

日本ユニセフ協会
「子どもの権利条約」



第1回会議(令和3年12月)

「子どもの権利」についての講義(日本福祉大学 野尻紀恵教授)を踏まえ、子どもの権利についてグループで意見交換

子ども・若者の意見
集約・反映

瀬戸市 条例案作

「目指す理想の姿」について3つのテーマを盛り込んだ条例案を作成

- 1.じぶんらしく生きている
- 2.すべての人が権利について知っている
- 3.いじめや虐待、暴力がなくなっている

3/30(水)
開催

第2回テーマ

「子どもの権利条例」についてみんなで話し合おう!
子どもにやさしいまちの実現には、どうしたらいいのかな?

条例案の内容について、6つのチームに分かれ、グループワーク。目指す理想の姿に近づくために、地域の大人や市役所、自分がすることについて意見を交換しました。最後には野尻教授から今後の活動へのアドバイスもありました。



グループワークの様子(瀬戸蔵多目的ホール)



目指す理想の姿

目指す理想の姿 | 1 じぶんらしく生きている

子ども・若者の意見

自分が自分らしく生き、他の人の生き方を尊重していきたい。

大人は子どもの見本だから、大人が持っている偏見をなくさなきゃダメだと思う。

学校で自分らしさをアピールできるような授業があるといいな。

目指す理想の姿 | 2 すべての人が権利について知っている

子ども・若者の意見

子どもや外国の方にも分かりやすいような冊子を作ってほしい。

子どもの権利週間があったり、授業で学べる時間があると良いと思う。

会議の参加者がケーブルテレビやSNSなどで発信してはどうかだろう。

目指す理想の姿 | 3 いじめや虐待、暴力がなくなっている

子ども・若者の意見

「いじめ」ではなく「暴行」などもっと強い言葉で表現したらいと思う。

子ども達だけで解決するのではなく、大人や先生などへ相談できる環境が必要だと思う。

まず、悩みを相談する勇気を育てなければ相談できないかも。